

営農技術情報

浸水の被害を抑えるために

平成30年 6月12日

日高農業改良普及センター日高西部支所

大雨により低い土地への浸水などが予想されます。

引き続き随時発表される気象情報に十分注意し対応に努めてください。

札幌管区気象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

1 ビニールハウス・農舎・畜舎の排水対策

- ・ 日常の排水路や排水溝が流入した土砂で埋まっている場合があります。スコップ等で排水路を確保し、少しでも早く停滞した水を排除するように排水場所を確保しましょう。
- ・ 付近の用水からもハウス側に水が流入する場合があります。周囲の水田・河川からの水の動きに注意しましょう。
- ・ 育苗中に苗が冠水した場合はできるだけ早く乾燥できるハウスに移し回復を図りましょう。

2 水が引いてからの対策

- ・ ハウス内の土壌の乾燥と湿度の低下のために暖房機や送風装置がある場合は有効に使いほ場の回復を図りましょう。
- ・ 定植直後の苗は、病害の発生に注意が必要です。
- ・ 作物の薬剤登録を確認し、対応した薬剤散布の準備をしましょう。

3 畜舎の管理

- ・ 畜舎内が浸水した場合は、伝染病や乳房炎などの慢性病の発生を防ぐため、排水に努め汚れを洗い流した後に、消毒剤や石灰散布、石灰塗布を行いましょう。
- ・ 汚れた飼槽や飲水器もきれいに洗浄し、消毒しましょう。
- ・ 被害を受けたロールベール乾草やサイレージ、冠水したスタックやバンカーサイロのサイレージは品質を十分確認してから給与しましょう。

河川・排水溝付近は滑りやすいので、十分注意をし、安全を確保して作業を行いましょう